

誠実に一生懸命!

# 直心

題字:長泉寺住職 後藤佑芳氏

## 県政だより

第55号(2016年11月)

静岡県議会議員

たいいち

# あつみ泰一



平成28年9月議会  
一般質問に登壇しました

### 川勝知事は、県民の「暮らし向き」や「悩みや不安」などの切実な問題にしっかり向き合っていくべきではないか。

国連の2016年度版「世界幸福度報告書」によれば、日本は昨年度の46位から順位を下げ53位であった。幸福の数値化に絶対的なものはないが、報告書では「不平等が少ない国に暮らす人々の方が、より幸せと感じる」ということを明らかにしている。「不平等」は「格差」と置き換えることもでき、大変重要な視点であると思います。

また別の調査では「日本の20歳代の独身者のうち結婚したい人の割合」が、男性は39%、女性は59%という大変低い数値でありました。独身でいる理由は、男性は「家族を養うほどの収入がない」、女性は「結婚したい相手がいない」がそれぞれ最多でした。また、20歳～30歳代の未婚女性が「結婚相手に望む年収は400万円以上」であるのに対し、この収入のある男性は20歳代で15%、30歳代で37%に留まっています。これでは結婚したくてもできないと思う若者が増えて当然で、背景として日本社会における格差と貧困の問題が大きいと思います。一方、今年度の県政世論調査結果を10年前と比較すると、暮らし向きが「苦しくなっている」が6ポイント上昇し37%、日常生活の悩みや不安を「感じている」が16ポイント増の75%、「感じていない」が22ポイント減のわずか18%でした。

知事は、『富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくりを実現する』という目標を掲げて県政運営をされているが、世界幸福度報告書の内容や、日本の若者のこうした現状を認識し、県民の「暮らし向き」や「悩みや不安」などの切実な思いにしっかりと向き合い、県民の「幸福度」を高める取り組みが重要ではないかと思います。 (一般質問より)

渥美 泰一

### 質問及び 答弁の要旨

9月議会において一般質問に  
立ち、知事の姿勢を質しました



#### 格差拡大と県民幸福度について

我が国における格差が拡大している中で、県民の「暮らし向き」や「悩みや不安」にどう向き合い、「県民幸福度」を高めていくか。

**知事:** 県民の幸福度の向上を図るために「県民幸福度調査」を実施し、幸福度に貢献する要素を分析し、それに基づき明確な目標と的確な施策を展開して、幸福度の最大化を目指してまいります。また、独断に陥らないように、県民の皆様と手を携えまして、人々が心の豊かさを実感し、多様な暮らし方を許容する寛容な社会、地域づくりに努めてまいります。

#### 熊本地震から学ぶ地震対策について

##### ●初動対応

南海トラフ地震の場合、被災範囲が複数の府県に亘るが、国の現地対策本部の体制について国とどう協議しているか。

**知事:** 政府の現地対策本部を静岡県県内に設置される計画となっています。また、来年1月に実施する訓練において、政府と県の合同会議で、受け入れ手順等の協議を実施します。

##### ●政令市及びその他の市町に対する支援

熊本県において、地震発生当初、政令市である熊本市の状況把握が困難であったとのことだが、本県における静岡・浜松両市及び、市町に対する支援体制づくりにどう取り組むか。

**知事:** 政令市との連携体制につきましては、他の市町と同様に、政令市在住の県職員を情報収集要員として、発災後速やかに派遣できるよう指名しており、必要に応じて危機管理局の職員も派遣し、政令市との情報の共有を図る体制を確保します。

また、市町情報収集が適格に行えるよう、防災行政無線やFUJISANシステムを活用して、迅速に市町の被災状況等を伝達するための研修を行い、資質の向上を図り、市町に対する支援体制を一層強化します。

#### 地域外交への取り組みについて

##### ●交流の基本方針

本県は他県と比較して、海外との交流に力を入れてきているが、今後の

県の海外との交流の基本方針と、それを県民に分かり易くどのように伝えていくのか伺う。

**知事:** 国や地域による文化の違いを理解して、友好的互恵・互助・善隣外交の精神に基づき、信頼関係を築いていくことが重要との考えのもと、交流を更に拡大・深化させますとともに、異なる文化や多様な価値観を理解するグローバルな人材の養成や通商の一層の活発化に努めます。また、これまでの成果や取り組みを積極的に情報発信し、県民各界・各層の皆様のご理解と更なるご参加が得られるよう努めます。

#### 人と野生鳥獣と自然環境の共存について

##### ●野生鳥獣による被害対策

農林産物被害は相変わらず深刻であり、昨年度の被害額は4億8,900万円と目標額を大きく上回っている。被害削減にどう取り組むか伺う。

**知事:** 近年は、ニホンジカとハクビシンの被害が増えており、鳥獣被害対策総合アドバイザーを養成し、侵入防止柵の設置を指導するとともに、頭数を減らすための管理捕獲を強化し、被害の目標額3億5,000万円以下の達成を目指します。

##### ●野生鳥獣の保護管理に向けた取り組み

県が総合計画に掲げる「棲み分けによる人と野生鳥獣の共存」のためには、これに関わる森林などの自然環境と野生鳥獣の保護管理に、より科学的根拠に基づいた取り組みが必要ではないか。

**知事:** 議員御指摘のワイルドライフ・マネジメントは、調査研究によって得られた科学的な根拠に基づいて「生息地管理」「個体管理」「被害管理」を総合的に行う優れた手法です。

本県といたしましても、来年度からニホンジカの生息実態調査など、より一層科学的な根拠に基づく対策を実施し、全県でのワイルドライフ・マネジメントの推進に努めます。

#### 県立学校の老朽化対策について

建築後40年以上経過する校舎のある県立高校は54校で、内50年以上は32校あり、老朽化が進んでいる。100を超える県立学校の教育環境の改善にどう取り組むのか、今後の整備方針を伺う。

**教育長:** 生徒数の減少や地域の教育ニーズを踏まえた、今後の高等学校教育のあり方を見通した第三次長期計画、特別支援学校施設整備計画等と整合性を図りつつ、中長期の施設整備計画を速やかに策定し、適正な規模や経費の平準化など、施設の最適化を目指したファシリティマネジメントに対応した老朽化対策を進めます。



# 9月定例会

9月20日～10月13日

## ■一般会計補正予算 43億4,700万円

国の補正予算に対応し、より緊急性のある事業を実施します。

### 主な事業内訳

- 木造住宅の耐震補強助成の拡充 補助額1戸当たり30万円→45万円 8,468万円
- 東京五輪自転車競技場へのアクセス道路の整備 1億5,000万円
- ラグビーワールドカップの会場となる小笠山運動場の整備 20億3,400万円
- 浜岡原発近隣にある社会福祉施設に対する放射線防護対策 5億円
- 保育施設、養護施設、障害児者施設等における防犯対策 4億9,000万円

## ■追加補正予算 195億1,930万円

国の追加補正予算に伴う追加公共事業の配分見込額を補正します。

# TOPICS 県政トピックス TOPICS

### ●地震・津波対策

遠州灘海岸防潮堤建設工事が順調に進んでいます:総延長17.5kmの内、篠原工区4.5kmは本年5月に竣工。残る区間についても既に8割が着手しており平成31年度の全区間完成を目指します。この他、県下各地区で津波対策工事を進めます。

建築物の耐震化に緊急対応します:住宅については、現行の助成額に市町の助成を含め最大30万円を上乗せします。旅館・ホテル等の多くの人々が利用する建築物についても、融資限度額を1億円から10億円へ拡大し、融資期間の延長を行います。

### ●「先端農業推進プロジェクト」が本格化します。

県では、ICTや光技術を活用し、篤農家のいちごやみかんの栽培技術を見える化する学習システムや、植物が出す微量なガスの計測により病害虫を早期に検出するシステムの研究開発などに取り組んでおり、沼津市の東海大学旧校舎を活用した農業版オープンイノベーションの拠点を、平成29年夏のオープンを目指し整備します。

### ●富士山静岡空港

初めてのローコストキャリア(LCC)が就航しました。ソウル線に、これまでのアジア航空に替わりエアソウルが就航し、これに伴い週3往復から週5往復に増便され、利便性が高まるほか韓国からの観光客の増加が期待されます。

旅客ターミナルビルの増築・改修を行います。国際線については、これまでの1時間に1便の受入を3便受け入れられる機能を確保するほか、飲食・物販店の拡充など、利用者の利便性を大幅に向上させます。平成30年10月の完成を目指します。来たる東京オリンピック・パラリンピックに向けた航空需要の高まりを取り込むためにも着実に整備を進め、既存路線の利用拡大や新しい路線開拓にも取り組みます。

### ●中部横断自動車道の全線開通が急がれます。

事業者である国土交通省と中日本高速道路(株)から工事の難航により、平成29年度に予定していた全線開通を2年延期する旨、報告がありました。中部横断自動車道は、中央自動車道と新東名・東名の両高速道路を結び、国際拠点港湾清水港、富士山静岡空港と一体となって陸海空の総合交通ネットワークを形成し、地域活性化の基盤となる重要な路線です。国土交通省と中日本高速道路(株)に対して、進捗管理の徹底を申し入れ、一日も早い開通を目指します。

### ●県立東部看護専門学校に助産師養成学科を新設します。

不足している助産師を養成し、安心安全な出産と充実した子育て支援を目的に、分娩及び産前産後のケア等を行う助産師を養成します。1年課程定員10名、平成31年度開設を予定しています。

## 厚生委員会で県の施策を質しました。

### 認知症対策について

- 地域における認知症の早期診断・早期対応体制の強化にどう取り組むか。認知症疾患医療センターを昨年度までに県内3ヶ所、本年度当初計画で3ヶ所を指定。更に9月補正予算で5ヶ所を追加指定します。これに静岡市2ヶ所と浜松市1ヶ所(聖隷三方原病院)を加え、県内14ヶ所体制とします。
- 認知症サポーター養成が進んでおり、昨年度末で全国で700万人余、本県においても23万人余が受講したが、今後は男性や子供たちも対象に力を入れサポーター養成に取り組むべきではないか。ご指摘の通りで、社会全員が認知症をよく理解する必要があり、今後は社会福祉協議会や教育委員会とも連携し、男性や子供のサポーターも増やしていきます。

### 保育士確保対策について

- 不足する保育人材を確保するために、県として保育士のキャリアアップや処遇改善につながる施策が必要ではないか。保育士について、現場の実態調査を実施し、キャリアアップに向けた研修による認定制度のモデルを作成し、経営者・管理者に対し意識向上と制度の普及を図ります。

### 静岡がんセンターの「支持療法センター」開設について

- がんセンターでは、抗がん剤の副作用などを軽減する「支持療法」に取り組んできており、このほど国内初となる「支持療法センター」を立ち上げたことが、その状況はどうか。治療に伴う副作用・合併症・後遺症に悩み、治療が続けられなくなったり、生活に支障が生じている患者が多いため、それらの症状を和らげ、生活の質の向上を図る支持療法をより統一的に実施する体制とした。抗がん剤の副作用である口内炎に対する口腔ケア、感染症に対する積極的な抗生剤の投与、吐き気、嘔吐止めの使用等のケアを各専門がチームで指導に当たります。

## スポーツ振興特別委員会

本年度、私はスポーツ振興特別委員会に所属し、調査活動をしています。(委員会の活動方針)

本県で開催されるラグビーワールドカップ2019及び2020東京オリンピック・パラリンピック競技を成功させるとともに、その開催効果を本県の持続的な発展につなげることが求められることから、両大会の開催に向けた取り組みと、県内スポーツの振興策等について調査し、大会のレガシー(遺産)を生かした県づくりに向けた提言を行います。

### (調査の観点)

- 1.両大会の開催準備状況、来訪者の受け入れ体制、インフラの整備、大会警備(犯罪・テロ対策)などについて調査検討する。
- 2.大会開催を契機とした観光誘客や交流の推進について調査・検討する。
- 3.本県スポーツの振興に向けた競技人口の増加と競技力向上について調査検討する。



ラグビーワールドカップ2019組織委員会を訪問し、委員会の取り組み状況と本県の課題等を調査



東京都オリンピック・パラリンピック準備局を訪問し、現役アスリートの就職支援等への取組みを調査



地下グランドなど、障害者スポーツ専用設備の充実した「横浜ラポール」を視察

## 新 会 員 募 集

“公益社団法人 浜北青年会議所では来年度の新会員を募集しています。”

浜北青年会議所で『新しい自分、新しい仲間を探しませんか!』私も阿部卓也県議も、浜北JCで多くの友人を作らせていただきました。

【入会条件】 浜北区内/近郊に在住又は勤務している 20歳以上40歳未満の男女

【お問合せ先】 TEL 053-587-2333 (浜北JC) (平日10時~14時)

【ホームページ】http://www.hamakita-jc.com/



## 静岡県議会議員 あつみ泰一事務所

〒434-0027 浜松市浜北区油一色132-1  
TEL.053-585-1313  
FAX.053-586-6155

私の県政活動をご覧いただけます県政へのご意見をお寄せください。  
ホームページ ■http://www.atsumi-t.com/  
Eメール ■atsumi-t@mail.wbs.ne.jp

「あつみ泰一携帯サイト」をご利用ください。

携帯カメラでQRコードを撮っていただければ、あつみ泰一のサイトにアクセスできます。是非メール会員登録をお願いします。ホットな話題をお送りします。

